

令和7年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立芦原小学校
作成日	令和8年2月5日

1 教育目標

豊かな心を持ち、自ら正しく判断して行動する子どもを育てる

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均を上回る ・わかる授業、子供主体の授業を実践したと思う(児童・教師90%) ・研究授業一人1実践以上実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいと感じる(児童90%) ・「心のとびら」の活用100% ・いじめの解消率100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝ごはんを食べた(児童95%) ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した(教師90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子がよく伝わった(保護者90%) ・中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた(教師90%)
意見重点目標に対する	<ul style="list-style-type: none"> ・子供主体の授業、家庭学習の定着、読書活動の推進、とても大切な目標だと思う。 ・確かな学力の向上に向け、基礎・基本の定着や子供主体の授業づくりに重点を置いた取組が進められ一定の成果も見られている。 ・確かな学力向上のため、指導方法の工夫改善を今後も進めてほしい。 ・基礎・基本、主体性は大切だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の充実、いじめの防止、仲間づくりはとても大切な目標だと思う。 ・道徳、人権教育の充実を通して、児童が安心して過ごせる学校づくりが進められており、いじめの未然防止や支持的な仲間関係の形成に一定の成果が見られている。 ・道徳、人権教育の充実が心優しい子供たちを育てる上で大切であると思う。 ・小集団であるからこそ人間関係に留意し、いじめ等未然防止は支持する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上の取り組みはとても重要だと思う。 ・基本的な生活習慣の確立と体力向上を柱とした取組が計画的に進められ、健康的な生活への意識が児童に定着し、運動への意欲や健康意識が見られる。 ・基本的生活習慣の確立は、生活のリズムを整える上で大事であり、積極的に取り組んでいる。 ・生活習慣の確立は大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域との連携、地域の資源活用は大切なことだと思う。 ・家庭・地域との連携を大切にしたい取組が進められ、学校の様子が保護者に十分伝わっていることがうかがえる。 ・今後も引き続きお願いしたい。 ・適切だと思う。
意見取組状況に対する	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の手引きを保護者に理解・定着を図ることが重要だと思う。 ・学習習慣の定着や授業改善、家庭学習、読書活動の推進等、確かな学力の向上に向けた取組が計画的に実施されている。 ・読解力の向上のため、今後も読み聞かせ、家庭読書等の推進をお願いしたい。 ・家庭学習の手引きで家庭にもアプローチすることは大切。 ・図書に触れる機会の推進は良い。 ・全国学調、県学テは、語彙力が低い。今回は5年生がよく頑張っていた。 ・読書タイムや移動図書館での貸出数4倍など、先生たちが頑張ってくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSのプラス面は多いが、マイナス面をきちんと知り、活用していくことが大事だと思う。 ・道徳科や人権教育を中心とした取組が年間を通して計画的に実施され、いじめの未然防止や安心して過ごせる学校づくりが進んでいる。 ・縦割り班活動は良い取組である。 ・スマホの所持率が高い。親はスマホの指導を出来ていない。親も隠れて使われ悩んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝・早起き・朝ごはんプラス快便も大事だと思う。毎日排便があると快適に過ごせると思うから。 ・運動習慣の定着や生活習慣の改善に向けた取組が継続的に進められ、健やかな体の育成につながっている。 ・適切だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、学校だよりが回覧でまわってくるので学校の様子がよく分かる。 ・家庭・地域との連携や園・小・中の接続が進み、地域資源を生かした「地域とともにある学校づくり」が進んでいる。 ・地域活動への参加を学校として行っていることはすばらしい。 ・ゆめ塾に来年度も助成金をもらえる予定。地域の大学生が教えてくれている。目標になる。
に取組する適切さの検証結果	<ul style="list-style-type: none"> ・全国・県学力テストで、具体的にどんな力が不足しているか、それをどんな風に改善していくのかが知りたい。 ・学びのルールの定着や授業改善に継続的に取組、教員の授業力向上を軸とした学力向上の取組が進められている。 ・読書活動の充実を図り、読解力の向上に取り組んでほしい。 ・学テでの結果に成果が見られてよい。 ・図書の貸出が4倍とすばらしい。 ・家庭に勉強への危機感を持ってもらいたい。テストの結果だけ見るとそこまで気にならないのかもしれない。 ・勉強がわからなくても、「ここがわからない」と言えない子もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年の子が低学年の子をきちんと世話しているのがとてもいいと思う。学校が楽しく、友だちと仲良くできているのもいい事だと思う。 ・道徳科や人権教育を中心とした取組が年間を通して計画的に実施されており、児童の思いやりの心や規範意識の育成につながっている。 ・たくさんの機会、場面を設けて目標に取り組んだ様子が見えやすい。 ・あいさつ35%ができない。しかし、「だれでも」は難しい。大人もしないし、できない人が多い。 ・少人数の良さで、いろいろな体験活動をさせてもらっている。将来につながる。 ・低学年の将来の夢100%はすごいこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣は、かなり確立されてきたと思うが、遅刻の多い現状をどう克服していくのかが課題だと思う。 ・運動習慣の定着や基本的な生活習慣の確立に向けた指導が継続的に進められ、児童の健康意識の向上が見られている。計画に沿った取組が実施されており、健やかな体の育成に成果が見られている。 ・教育講演会に参加させてもらったが、良い啓発となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・皮革工場・ポンプ場等の見学を通しての人権・地域社会学習はとても定着してきていると思う。 ・保護者や地域との連携を意識した取組が進められ、学校の教育活動について理解を得ることができている。 ・教員同士の交流や人権資料室の開放等はすばらしい。
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の遅刻や欠席についての意識が低いことが、学習面の低下につながっている事を根気強く訴えていくことが大切だと思う。 ・基礎・基本の定着を重視しながら、芦原タイムや放課後フォローアップ、少人数指導を効果的に活用することで、個に応じた指導の一層の充実が期待される。 ・遅刻や欠席が学習面に与える影響が大きいことを今後も保護者へ啓発を進めてほしい。 ・書く活動を増やすことは大切。 ・保護者啓発は大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年のあいさつ64%をもっとあげたい。自尊感情を高め、相手の立場を考えつつ、自分の意見を述べる力はとても大切だと思う。 ・引き続き道徳・人権教育の充実を図るとともに児童が自分の思いや考えをより主体的に発信できる場を工夫し、質の向上を目指してほしい。 ・実態把握(保護者との連携)は大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホ等で夜遅くまで起きている子供に対しては、親子でルールを決める等、今以上の強い呼びかけが必要だと思う。 ・今後も、運動の楽しさを実感できる活動を工夫するとともに、家庭と連携した生活習慣改善を進め、児童一人一人の実態に応じた支援を行ってほしい。 ・運動の習慣化をどう広げていこうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・差別を正しく知り、差別に打ち勝つ子供を育てる部活問題学習を学んだ後の子供たちの反応が知りたいと思う。めざしたところの子供が育っていることを期待している。 ・今後は、地域との協働の機会をさらに広げ、教育活動への参画を促していけるようにし、地域・家庭との連携をより一層深めていってほしい。 ・適切だと思う。状況に応じて進めてほしい。 ・学校のルールを覚えてほしい。公園でいつも遊ぶ遊んでいる。 ・講演会、懇談会等への参加者の少なさから、親の意識の低さがわかる。親もいっぱいいっぱいになっていく部分もある。 ・土曜教室へのもっと参加を。

3 其他のご意見

・芦原こども園においても、講演会や行事の手伝い等の出席は、大変少ない現状があり、ご協力の声かけをかなり行っている。同じ課題があることを知り、協力できることがあれば共有していきたい。

・児童数の減少が著しいことを、やはり危惧している。また、育友会活動が困難化していることも心配。今後、運営協議会でもこの問題について議論することが必要だと思う。

・鼓笛がなくなるので、少人数の良さを生かした、「芦原」の強みになる何かを始めてほしい。英語、パソコン…等。

筆責: 芦原小学校 学校運営協議会